

水環境学会中国四国支部ニュースレター

vol.4(5), 2002 年 9月, 3ページ

<http://www.jswe.or.jp/katu/shibu/chushi/index.html>

このニュースレターは支部の会員の皆様に支部の動向をお伝えすることを目的として不定期に発行します。

担当：上月康則 徳島大学大学院工学研究科エコシステム工学専攻 〒770-8506 徳島市常三島町2-1

TEL.&FAX.088-656-7335 kozuki@eco.tokushima-u.ac.jp

現地見学会と
フォーラム

「自然再生事業と市民活動 -霞ヶ浦・琵琶湖・宍道湖・中海-」

主催：応用生態工学研究会

共催：島根大学汽水域研究センター，(社)日本水環境学会中国四国支部

後援：国土交通省出雲工事事務所，ホシザキグリーン財団，宍道湖自然館，
島根ふれあい環境財団 21，松江市

現地見学会 2002 年 11 月 2 日(土)13:00～18:00
宍道湖西岸植生護岸，宍道湖自然館「ゴビウス」など
フォーラム 2002 年 11 月 3 日(日)9:30～16:00
松江テルサ 4 階大会議室

「応用生態工学研究会」は，生態学と土木工学の関係者が共同して「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」を共通の目標に，平成 9(1997)年に発足した会です。昨年(2001)には市民との連携を目指し，研究会のなかにパートナーシップ委員会を新たに設け，今回の現地見学会とフォーラムを開催することになったものです。

痛めつけられてきた日本各地の河川や湖沼で，自然の再生事業が始まっています。COD や BOD では語れない生物の多様性や水辺の景観の価値が今，ようやく人々によって語られるようになったといっているでしょう。しかしながら，何をどのようによみがえらせればいいのか，まだ手探りの状態が続いているのが現状です。

「21 世紀『環の国』づくり会議」では，自然と共生する社会の実現のため，「自然再生型公共事業」を推進する際に，市民・企業・研究者・NPO・行政等の多様な主体の参加によって，自然を再生していくことが望まれています。さらに新「多様性国家戦略」では，自然再生事業を進めるために，NPO や地域住民が参加した工事の実施，あるいは国や県，市町村といった自治体と NPO などの市民活動との連携・協働が，今まで以上に強く打ち出されています。しかし，地域住民とは，あるいは市民とは誰なのか，主体の役割と責任の分担はどうあるべきかの合意形成について等々，残されている課題は少なくありません。

今回のフォーラムでは，自然再生のための市民レベルでの取り組みの様子とノウハウ，あるいは活動を行う上での悩みや問題点，将来像などを含め，日本を代表する 3 つの湖を例に語っていただき，今後各地で始まる自然再生の参考にしたいと考えています。宍道湖のヨシ原の再生を目指した植生護岸の現地見学会もあります。湖や河川に限らず，これから自然再生に取り組もうと考えている方々の積極的な参加を希望します。

プログラム内容

11月2日(土) 13:00-18:00 現地見学会と交流会

- 13:00 松江駅南口集合
13:30-17:30 バスにて宍道湖西岸植生護岸，宍道湖自然館などを訪問
18:00 松江駅着
18:30-21:00 交流会(場所は未定．参加人数確定後に決定します)

11月3日(日) 9:30-16:00 フォーラムと討論

- 9:00 会場受付開始
9:30 開会
9:45-12:15 フォーラム

霞ヶ浦から:「霞ヶ浦・北浦をよくする市民連絡会議」事務局長 飯島博氏

琵琶湖から:「びわ湖自然環境ネットワーク」代表 寺川庄蔵氏

宍道湖・中海から:「斐伊川流域環境ネットワーク」事務局長 飯田幸一氏

- 13:30-16:00 フロアを含んだ総合討論

司会: 國井秀伸(島根大学汽水域研究センター，当研究会理事およびパートナーシップ委員会委員長)
(討論にはパートナーシップ委員会のメンバー(遊磨正秀(京都大学)，寺元和子(豊橋創造大学短期大学)，中井克樹(滋

賀

県立琵琶湖博物館)，森吉尚(リバーフロント整備センター)，吉富友恭((独)土木研究所))と角野康郎幹事長(神戸大学)が加わる予定です)

参加費

現地見学会:	1,000円
交流会:	2,000円
フォーラム(資料代):	
会員・一般	1,000円
学生	500円

参加費は当日会場にて

参加希望者は裏面の申し込み用紙を使用 して，ファックスあるいは郵送にてお送りください．同等内容のEメール

でも受け付けます．申し込み締め切りは 2002年10月18日(金)です．バスおよび会場の定員数はそれぞれ

約50名と120名ですので，どちらも先着順とします．

松江までの交通および宿泊先は以下の HP を参照して各自手配願います．

交通手段:「Infoseekの乗り換え案内」

(<http://transfer.www.infoseek.co.jp/>)．

宿泊先:「旅の窓口」(<http://www.mytrip.net/>)あるいは

「松江旅館ホテル組合」(<http://www.matsue-yado.com/>)など．

車を利用される方には駐車場がありますが，駅から徒歩10分ほどの，料金の安いくにびきメッセ駐車場をお勧めします．

なお，フォーラム翌日の11月4日は振替休日です，2日から3日間の連休となっていますので，予約はお早めをお願い致します．



●交通案内…JR松江駅から徒歩1分

【フォーラムと現地見学会に関する問い合わせ先】

690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学汽水域研究センター 國井秀伸
(TEL:0852-32-6439 FAX:0852-32-6099 E-mail:kunii@soc.shimane-u.ac.jp)
あるいは応用生態工学研究会事務局まで

(TEL:03-5216-8401 FAX:03-5216-8520 E-mail

参加申し込み書

fax:0852-32-6099

E-mail:kunii@soc.shimane-u.ac.jp

事務局記入欄

受付番号:

受付: 月 日

「自然再生事業と市民活動 -霞ヶ浦・琵琶湖・宍道湖・中海-」(2002年11月2~3日)の現地見学会/フォーラムへの参加を希望します。

参加希望者氏名住所その他(必ず1名につき1枚を送信して下さい)

ふりがな
氏名

正・学生会員 NO.

所属(名称:社名,校名,部課名,学部,学年等)

連絡先(自宅・所属先)(いずれかに)

〒

TEL

FAX

E-mail

専門分野

現地見学会 参加(1000円)・不参加 (いずれかに)

交流会 参加(2000円)・不参加

フォーラム 参加(1000円・500円)・不参加

合計金額 円を当日会場に持参します